

事業番号	15 05 11	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	未来を担う科学技術人材育成事業費				担当課	部局	教育委員会事務局		
総合5か年計画	プロジェクト					課・局・室	教学指導課		
	施策の総合的展開					E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp		
	実施期間	H28 ~							
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針								
	施策展開								

1 事業の概要

目指す姿	「ものづくり長野」・「イノベーション長野」を支え、けん引する科学技術人材を育成することで世界をリードする科学技術人材を育てる長野県「科学の長野」のイメージ定着を目指す。															
現状（予算編成時）	明日の長野県を担う子どもたちが、未来を切り拓く力を身に付け、希望する進路を実現できるようにするため、「こどもの未来支援積立金」を活用し、広く貧困等の困難を抱える子どもたちを支援する。															
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 「科学の長野」のイメージ定着を図るためには、県が全国大会の誘致・開催や児童生徒に対して、築き上げた基礎力に加え、視野拡大・興味喚起・卓越性を伸長するための取組を継続して行っていく必要がある。														
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)															
	<ul style="list-style-type: none"> ・「科学の甲子園ジュニア」全国大会プレ大会参加チーム数30チームを目指す。 ・科学オリンピック参加者数100人を目指す。 															
	② 事業内容 (単位:千円)															
		項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29								
					(当初)	(決算)	(当初)									
		科学の甲子園ジュニア(全国大会)誘致・継続開催	直接	全国の中学生が都道府県を代表して科学の思考力・技能を競う「科学の甲子園ジュニア全国大会」の長野県での開催を目指した。	3,973	2,056	0									
	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接補助金	高等学校等が実施する産学連携による実験、実習等の体験的・課題解決的な学習活動や、海外研修等を支援補助金交付先(東海大学付属諏訪高等学校)	13,632	13,127	16,419										
	科学オリンピック養成講座	直接	中高生を対象に、「科学オリンピック」や「科学の甲子園ジュニア」など科学分野の各種全国大会・国際大会に向けた実力養成講座等を実施	4,469	1,781	4,493										
	JAXAスペースツアー	直接		0	0	1,162										
	合計			22,074	16,964	22,074										
事業コスト	区 分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況											
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標				
		当初予算		22,074	22,074				目標	成果	達成状況					
		補正予算							「科学の甲子園ジュニア」全国大会プレ大会参加チーム数	-	-		30チーム	32チーム	達成	30チーム
		合計(A)	0	22,074	22,074								科学オリンピック参加者数	-	-	100人
	Aの財源	一般財源		0	0											
		県債														
		国庫支出金		0	0											
		その他	0	22,074	22,074											
		決算額(B)		16,964												
概算人件費		職員数(人)		2.00	2.00											
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	0	15,828	15,828												
		0	32,792	37,902												

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「科学の甲子園ジュニア」全国大会プレ大会参加チーム数について、平成27年度においては23チームの参加であったが、大会の更なる周知に取り組んだことで目標を上回った。 ・科学オリンピック養成講座において、科学オリンピックへの興味関心を高めたことで参加者数が目標を上回った。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業として、中学生の宇宙への興味を喚起するJAXAスペースツアーを実施する。 ・科学オリンピック養成講座については、参加者数のさらなる増加を目指す。
--------------------	---